

ガストーチバーナによる火災に注意！

ガストーチバーナの火災がありました。

説明書を読み注意して使用して下さい。



【ガストーチバーナ】

カセットボンベに接続して用いる簡易的なガスバーナで、主にアウトドアで炭の火起こし、家庭での調理における炙り料理などで近年幅広く使用されています。

火災の原因としては、説明書を読まなかったことによる使用方法の誤りと思われるもの、取り付け不良、ねじの緩みなどがあります。



※ 当消防組合実験写真

【当消防組合火災事例1】

● 僅かに炎が出ていることに気付かず、可燃物の近くにガストーチバーナを収納したため延焼した火災

■ 焼損状況：車両火災 ■ 人的被害：なし

屋外でガストーチバーナを使用し、消したつもりで車内に収納したところ微かに火口から炎が出ており近くにあった可燃物に着火した。男性が火災に気付くが車両及び収容物が焼損したもの。

火災原因は、炎を消したつもりでいたがバルブがしっかりと消えていなかった。

ガストーチバーナの炎は、青色であることから炎に気付くづらく、また、残炎があることに気付かない場合もあります。使用後にしっかりとバルブを閉め、炎が出ていないことを確認する必要があります。

【当消防組合火災事例2】

● ガストーチバーナが異常燃焼をしたことによる火災

■ 焼損状況：建物火災（ぼや） ■ 人的被害：なし

キッチンにて調理のため魚を炙ろうとガスバーナを点火、その後バーナを消そうとしたところ、異常燃焼がおき、ガスを止めようとしたが止まらず、ガスボンベをシンク内に投げたもの。

当消防組合にて火災事例2が発生し、3社のガストーチを用意し燃焼状況を確認しました。

【燃焼実験】



(今回実験で使用したガストーチバーナ3種類)

【実験1は、B社製の燃焼実験写真】



【水平に点火】



【斜め45度方向へ】



【真下方向へ】



【逆さま方向へ】

【実験結果】

A社製、B社製の製品にて燃焼実験を実施したところ、両社製とも正常な燃焼が認められた。

※ 今回実施したA社製、B社製のガストーチバーナは予備加熱の必要が無いものとなります。

【実験2は、インターネットにて購入した同等品（廉価品）の燃焼実験】



【水平に点火】



【斜め45度方向へ】



【真下方向へ】



【逆さま方向へ】

【実験結果】

今回実験で使用したガストーチバーナは、インターネットで購入した廉価品であり、購入時のパッケージは英語表記の説明書きとなっていた。説明書に予備加熱についての注意書きは認められなかった。

実験の結果、どの角度においても異常燃焼が認められた。

火災や事故を防ぐために以下のことを注意しましょう。

- 1 購入する前（店頭などにて）に自分がやりたいことができるか店頭又は、説明書等を確認しましょう。
ガストーチバーナは、形に大きな差はありませんが、点火後に水平に使用する場合、傾けて使用する場合、下に向ける場合、逆さに使用する場合など使用方法は人により様々です。ガストーチバーナを点火直後、直ぐに傾けたり、逆さにできるものもあれば、予備加熱が必要な商品があります。予備加熱が必要な商品に予備加熱が十分にできていない状態で使用すると異常燃焼することがあり大変危険です。
- 2 使用前点検をしましょう。
ガスボンベ取り付け時に、「シュー」と音がる、玉ねぎの腐った様な匂いがする時は、ガスが漏れている可能性がありますので、使用しないで下さい。
- 3 メーカーが不明の製品は使用しない。
インターネット等で購入した廉価品の中には、製造業者（輸入業者）や連絡先が記載されていないものがあります。事故が起きた際の連絡や調査が困難なものもあります。
- 4 ガストーチバーナやガスボンベに変形や亀裂がある場合、また、ガスボンベが錆びている場合や接続口が変形しているものは使用しないで下さい。火災を引き起こす可能性があります。万が一火災が発生した場合は、粉末消火器で消火するか水バケツの中に全体を沈めて消火をして下さい。